

ごあいさつ

本校は、昭和22年に稲田村立稲田中学校として開校して以来、今年で創立70年目を迎え歴史と伝統がある学校です。学区は須賀川市のほぼ中央南端の自然豊かな丘陵地帯に位置し、「稲田」の地域名のとおり、実り豊かな田園が広がる農村地帯です。平成29年度は、新入生39名をむかえ、全校生徒104名の生徒と20名の教職員で順調なスタートを切ることができました。

本校の教育目標は

基本目標

「豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲中生」

具体的目標

- 「自ら学び生徒（知）」
- 「思いやりのある生徒（徳）」
- 「健康で働く生徒（体）」

を掲げ、その具現にむけて、教職員が「師弟一如」の精神で一丸となって取り組んでおります。その結果「子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校」となるよう努力してまいります。

詳しくは、学校経営グランドデザインをご覧ください。

本校は、須賀川市教育委員会「小中一貫教育」須賀川モデルにより、平成30年4月に隣接する稲田小学校とともに、施設一体型の小中一貫校として開校いたします。

現在新校舎改築工事が順調に進むとともに、今年度は小中一貫教育グランドデザイン・教育目標や教育課程・教育計画等の編成等、さらにはPTA組織統合、日課表統一など、保護者や地域の方々、さらには関係機関等のご意見等を伺いながら試行及び先行して小中一貫教育の事業を推進してまいります。

その結果、義務教育9年間の一貫性のある教育活動を通して、一人ひとりの個性が輝くとともに、豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい児童・生徒の育成が図られるものと確信しております。

東日本大震災及び原発事故から6年が経過し、これからの福島や須賀川、そしてこの稲田の未来の担い手として、郷土を愛するとともに社会に貢献する人材を育成することが、私たち教育に携わる者に課せられている使命でもあります。そのような人材に、稲田の子どもたちを育ていけるよう、稲田中学校教職員一同が力を合わせ努力していきますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

なお、日々の本校の教育活動をホームページや学校だより等を通してお知らせします。お気づきの点がありましたらお知らせください。

平成29年4月

須賀川市立稲田中学校長 八木沼 孝夫